サンフレッチェ広島の試合観戦と応援

中国遊技機商業協同組合(山本基庚理事長)福利厚生委員会では、組合員及びその社員・家族の親睦等を図るため、令和７年４月２９日(火)、昨年度同様エディオンピースウイング広島に創設された、定員９０席分のパーティテラスを貸し切り、３２社７８名がＪ１リーグ「サンフレッチェ広島対アルビレックス新潟」戦を観戦しました。

当日は会場内の２５，２４６人の観戦者が見守る中、午後２時に試合が開始され、前半は、サンフレッチェ広島が果敢に攻め、シュートを放ったが得点を入れることができず、０対０で後半戦に突入しました。後半戦では、アルビレックス新潟がボールを持つ展開が多くなり、終盤の８５分には先制点を奪われ、そのまま逃げ切られ、サンフレッチェ広島は残念ながら負けてしまいました。

まさかのリーグ戦４連敗という結果に、観戦した組合員等はがっくりと肩を落としましたが、臨場感に溢れる試合を間近に体感でき、今後の試合に期待しながら会場を後にしました。

（別紙写真参照）